

家庭教育学級新聞

発行 山武市教育委員会生涯学習課

山武市殿台 279-1

TEL 0475-80-1456 FAX 0475-80-1400

Email:shogaigakushu@city.sammu.lg.jp

むつみのおか幼稚園家庭教育講演会

「今、子育てに必要なこと」
チャイルド本社 井上茂雄氏

- 子どものためだと、「とがった言葉・冷たい言葉」をかけていませんか？
- 赤ちゃんの時にかけていた「温かい言葉」を大きくなってもかけてあげよう
- 1回叱ったら2回ほめてあげよう

- ◆ 親の愛情を感じる体験
「温かい言葉・温かい食事・絵本の読み聞かせ」が親子関係を確実にする
- ◆ 親子関係を「つのつく年」(9歳)までに作る



六月二十日(水)、むつみのおか幼稚園で家庭教育学級「子育て講演会」が開催されました。講師の井上先生は昨年度講演いただき大好評で、保護者の皆さまの要望によって二年連続でお願いしたそうです。幼少期の子育てに大事なことを伝えてくれたうえで絵本の読み聞かせの良さもすっかり伝わりました。

「子どもに温かい言葉をかけていきたい」「頑張ることができる大人になれるようにたくさんさんの愛情を注いでいきたい」「読み聞かせは子育てしていく中で大事な時間だと思った」など前向きな感想がたくさん出ました。



講演後、園児に読み聞かせを披露する井上先生

優しくしようと決心したら、絵本を読んであげよう！

- 自分が主人公になり、イメージの世界で遊べる
- 親を独占でき、生に声で読んでもらえる時間
- 興味を持った絵などを指差した時は、必ず親の顔を見るので、見てあげることで関係ができる
- 落ち着いて聞かなかったり遊んでしまうようなら無理にやることはない



読み聞かせは幼児期が最高

リレーコラム第7回 我が家の子育て

山武市立むつみのおか幼稚園
園長 今井栄美子



私は、幼児教育に長年携わってきた、ちよつと古い母です。その中で私は、保護者や地域の子育ての中の方の相談を受けたり、子育ての応援ができたら良いと考え、力を入れていきます。そんな時、この原稿依頼があり、自分の子育てを振り返ってみました。

我が家は、八人家族の中に、年子で一姫二太郎が生まれ、さらに、私は仕事をしながらの子育てでした。主に義父母と主人、そして実家の両親と、私を面倒みてくれたおばちゃんにも助けられました。

ある日懸命に頑張っている私がほっとする出来事がありました。それは、二人が3・4歳の頃、ままごと遊びの延長でご飯を食べようということになり、周囲は鶏が喜ぶような状況になり大変だったようです。そんな様子を夕飯時に義父が「二人ともうこれでお腹を空かすことは無い。良かったね、お母さん」と、言って笑い飛ばしてくれました。

さらに義父は、子供たちが小学生になったころから、お年玉のぼち袋に必ずメッセージを書いてくれました。その中で母として、一番印象に残っているのは、「〇君、これが最後のおとし玉です。大学は、両親が学費を払ってくれて学ぶ所です。そして、環境の違う沢山の人と出会う場所なので、色々な人と交流して、人として、社会人として自分が生きていく為の生活力を培う場所です。おじいさんも応援するよ。」と。

これを読んだ息子は涙。そして、娘には、「〇ちゃんは女の子だからだれにでも愛される人になるんだよ」というメッセージでした。娘は、「何、このメッセージ」と言う時もありましたが、成長することになり、その気持ちを理解してくれていました。

今考えてみると、家族の中でいつも叱っていたのは、私だけだったかもしれない。それでも、そんな私に、困った時や悩んだ時は必ず相談してくれました。



今考えてみると、家族の中でいつも叱っていたのは、私だけだったかもしれない。それでも、そんな私に、困った時や悩んだ時は必ず相談してくれました。

※このコーナーは、リレー形式で順次自分の子育てについて、エピソードや思うことなど気ままに書いていただく予定です。お楽しみに。

その時は、すぐ判断せず「お父さんに聞いてみな」「お父さんと相談してみるね」など必ず父親の存在を守り立てました。

今考えると、もしかしてこれが子育てのテクニックだったかもしれません。

娘が高校生の時、両親に反発した時は、夫婦で話し合い「父母はあなたを信じているよ。自分を大事にして」と、どんな時でも必ず言うことしていました。でも心の中は「大丈夫かな？」と不安で一杯の時期もありました。

ただ一つ、母として残念なことは、娘の新婚のお礼の言葉が、父そして義父母と過ごした思い出だけだったことです。それに対して、実母が一言「娘はしっかり母のこととは、見ているよ」と、言ってくれたことは、私が母として自信を持って、安心できたことです。

こんな子育てって有り。あるんですよ。今考えてみると、家族を中心に周りの人が、育ててくれたこと。さらには周囲の人たちが子供たちを見守り、そして両親が子を信じてくれることが心に響き、育ってくれたのかなと思います。さらに、日々大人が真剣に生き、生活していることが、子の育ちを応援援助することだとも、今思っております。

こんな私の立派でない子育てと、下手な文章を読んでくださった皆さんに、あまり頑張りすぎない子育てと、夫を上手に育て、その手伝いをしてもらう方法を伝授しました。そうなのです、子育ては、沢山の人の協力してもらい、両親はお互いの役目を真剣に実行し、生きる姿を見せていけば良いのではないのでしょうか？ このような私の「周囲を頼りにした子育て」を知り、安心してゆつたりな子育てをしていただければありがたいです。



もし、私とおしゃべりがしたいと思つた方は、むつみのおか幼稚園においでください。ありがとうございます。

松尾小第1回家庭教育学級 6/28(木)

「リンパマッサージで日頃の疲れを解消」

リンパマッサージで体が柔らかくなる?!!



不思議なことにほうれい線をマッサージする前後で前屈の深さを比べると、本当に深く曲げられるようになっている!

リンパマッサージの効果を実感したひと時でした。



※リンパマッサージは体内に溜まった老廃物や毒素をリンパ液にのせて排泄するものです。リンパ液は冷え症、血行障害、免疫機能の改善に重要な役割を果たしてくれますが、生活習慣やストレスなどによってとても流れにくくなっています。



リンパの流し方を講師の先生に教わり、「小顔」になったなど喜びの声も・・・

みなさん「気持ちよかった!」との感想を残して、授業参観に向いました。



成東中家庭教育学級 9/15(土)

「健全育成のための学校と保護者の連携の在り方

～早期発見、正しい対応を目指して～

講師：星 幸広氏（千葉大学ジェネラルサポーター）

熱く語る星氏



長年、千葉県警察官として勤務され、少年事件に深く関わるなかで子どもたちをみつめてきた先生は、中学生の自殺がテレビを賑わしているが、子どもの発する“危険信号”を見逃さないでと訴えました。

子どもの世界が親から見えにくくなっていく思春期ですが、“ある日突然”ということはなく、必ずサインを出しているの、子育ては意識してやらないといけないということでした。

それはまた学校との2人3脚が機能してこそ可能になるので、普段から学校と密接に関わっていく必要性を感じました。

【思春期に気をつけること】

- ★子供部屋は100%親の管理下に置く・・・子どもより優位になっていないとしつけもできない
- ★他の子との比較、毎日怒る・・・子どもをだめにする
- ★良いところを見る・・・悪いところが枯れていく
- ★夫婦仲が悪い・・・ぐれる確率が高い



今回取り上げた、むつみのおか幼稚園と成東中の家庭教育学級は、本当に内容の濃い講演会となりました。それぞれ幼児期と思春期とで、その時期にどうすればよいのかということが良く理解できたと思います。

講演会という足が遠のくという保護者の方もいらっしゃるかとは思いますが、お子様の学校などで家庭教育学級は必ず実施しています。松尾小で取り上げたリンパマッサージは、みなさんくつろいだ様子で楽しく行われました。そんな学級生同志の交流もまた家庭教育学級の目的かと思えますので、まだ参加した事のない方も、まずはそんな肩の凝らない講座から参加してみたいかでしょうか。

担当 加瀬

